

## 次世代型リチウムイオン電池「全樹脂電池」の事業開発を行う APB、越前市に 第一量産工場を設立

三洋化成工業株式会社  
(証券コード 4471)

三洋化成工業株式会社(本社:京都市東山区、社長:安藤孝夫、以下 三洋化成)は、子会社で、次世代型リチウムイオン電池「全樹脂電池」の開発を行う APB 株式会社(本社:東京都千代田区/代表取締役:堀江英明、以下 APB)が、全樹脂電池の量産検証の開始のため、福井県越前市において用地及び建物を新たに取得いたしましたのでお知らせします。

APB では、本工場用地及び建物の取得により、世界初の全樹脂電池の商業化に向け、早期での量産技術の確立を目指してまいります。

### 【本計画の概要】

名称: APB 福井工場(仮称)  
所在地: 福井県越前市庄田町  
敷地面積: 約 23,733 m<sup>2</sup>  
延床面積: 約 8,628 m<sup>2</sup>  
事業内容: 全樹脂電池の設計、製造  
操業開始予定: 2021 年

### 【全樹脂電池の概要】

APB は、三洋化成と APB の現代表取締役である堀江英明が共同で開発したバイポーラ積層型のリチウムイオン電池である全樹脂電池(All Polymer Battery)の製造及び販売を行うスタートアップ企業です。全樹脂電池は、界面活性制御技術を有する三洋化成が開発した樹脂を用い、活物質に樹脂被覆を行い、樹脂集電体に塗布をすることで電極を形成しています。このような独自の製造プロセスにより、従来のリチウムイオン電池よりも工程を短縮することで、製造コスト・リードタイムの削減を実現するとともに、これまでにない高い異常時信頼性とエネルギー密度を実現しています。部品点数が少なく済むバイポーラ積層型で、樹脂で構成しているため、電極の厚膜化が容易に行え、セルの大型化が可能で形状自由度が高いことも特長であり、リチウムイオン電池理想の構造ともいえます。

### 【APB 株式会社 会社概要】

設立 : 2018 年 10 月  
代表者 : 堀江 英明  
事業内容 : リチウムイオン電池の研究開発・製造・販売、コンサルタント業務等  
所在地 : 東京都千代田区神田岩本町 4-12 MCC 神田岩本町ビル 6 階



<本件に関するお問い合わせ先>

三洋化成工業株式会社 メディア・IR 部

電話 075-541-4312